

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2019-180661(P2019-180661A)

【公開日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-043

【出願番号】特願2018-73448(P2018-73448)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 6 Z
A 6 3 F	7/02	3 3 3 Z
A 6 3 F	7/02	3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

電源投入後の遊技中に乱数抽選で当選した場合に遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、

前記乱数抽選で当選する確率に関する設定値を記憶し、

前記設定値に関する設定情報を表示可能な設定表示手段を備え、

電源投入時に第1開始条件を満たす場合に、遊技に関する遊技処理の実行前に、所定操作に基づいて前記設定値の設定を行う設定値設定処理を実行し、

電源投入時に第2開始条件を満たす場合に、前記遊技処理の実行前に、前記設定表示手段にその時点の前記設定値に関する前記設定情報を表示する設定確認処理を実行し、

前記設定確認処理の実行中及び／又は前記設定確認処理の実行後に、所定時間セキュリティ信号を外部出力するように構成し、

前記設定確認処理の実行中に電断し、その後の電断復帰時に当該設定確認処理を実行することなく前記遊技処理を実行する場合も前記セキュリティ信号を外部出力することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

このようにパチンコ機に関しては、乱数抽選の当選確率（大当たり確率）を任意に変更することは認められていなかったが、釘調整禁止の徹底等の流れにより、パチンコ機でもスロットマシンと同様に乱数抽選の当選確率に対応する設定値を任意に設定することが認められる方向にある。

またそのような設定値の設定を可能にする場合、設定値の設定や確認等の処理を行った場合には、外部端子からセキュリティ信号を所定時間出力することが望ましく、またそのセキュリティ信号の出力はどのような状況でも確実に行われなければならない。

本発明は上記事情に鑑みてなされたものであり、設定値の確認処理を実行する場合にセ

セキュリティ信号を所定時間確実に出力することが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、電源投入後の遊技中に乱数抽選で当選した場合に遊技者に有利な特別遊技を実行可能な遊技機において、前記乱数抽選で当選する確率に関する設定値を記憶し、前記設定値に関する設定情報を表示可能な設定表示手段を備え、電源投入時に第1開始条件を満たす場合に、遊技に関する遊技処理の実行前に、所定操作に基づいて前記設定値の設定を行う設定値設定処理を実行し、電源投入時に第2開始条件を満たす場合に、前記遊技処理の実行前に、前記設定表示手段にその時点の前記設定値に関する前記設定情報を表示する設定確認処理を実行し、前記設定確認処理の実行中及び／又は前記設定確認処理の実行後に、所定時間セキュリティ信号を外部出力するように構成し、前記設定確認処理の実行中に電断し、その後の電断復帰時に当該設定確認処理を実行することなく前記遊技処理を実行する場合も前記セキュリティ信号を外部出力するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、設定値の確認処理を実行する場合にセキュリティ信号を所定時間確実に出力することが可能である。